

2023年9月11日

国際病理アカデミー(IAP)日本支部  
会員 各位

国際病理アカデミー(IAP)日本支部 会長 小田義直  
2023年理事指名委員会 委員長 吉野 正、副委員長 加藤良平  
委員 清川貴子、都築豊徳、原田憲一、南口早智子、長村義之、松原 修

## 2023年 IAP 日本支部理事選挙 投票のお願い

清秋の候、先生におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度 国際病理アカデミー日本支部会則第5章、役員、第7条から第9条により、任期を満了されます理事2名（原田憲一先生、近藤哲夫先生）の後任についての理事選挙を行います。任期は2024年ー2026年です。2023年 IAP 日本支部理事指名委員会において、国内外での IAP での活動および貢献、男女共同参画、専門領域、地域性などを慎重に審議し、本年度は次の5名を理事指名候補者と決定しました。なお、候補者のプロフィールについては、指名委員会の責任によるものであります。また、候補者の掲載順は五十音順です。

下記の要領に従い、HP マイページにてご投票をお願いします。HP マイページ上での電子投票になります。

- ・2023年度理事指名委員会の選考方針について 理事指名委員会 委員長 吉野 正
- ・国際病理アカデミー日本支部(JDIAP)の理事選挙への積極的な投票をお願いいたします JDIAP 会長 小田義直  
詳細は、こちらをご参照ください（News Bulletin 2023 No.3 p3-4）：<https://iapjapan.org/news/pdf/23-3NewsBulletin.pdf>

### 記

**投票期間： 10月2日(月) 12:00 から 10月16日(月) 17:00 まで**

1. HP 上の選挙公報をご覧になり、投票をお願いします。
2. マイページへログイン後、「理事選挙」項目より投票してください。理事指名候補者5名の中から3名まで投票することができます。投票後は確認メールが送信されます。Eメールアドレスが未登録の会員は登録情報を早急に更新してください。
3. マイページへのログイン情報が分からない会員は事務局へご連絡ください。

以上

牛久 哲男

TETSUO USIKU



東京大学大学院医学系研究科 人体病理学・病理診断学 教授

東京大学医学部附属病院病理部 部長

東京大学 2000 年卒 関東地区

専門領域 消化管分野

IAP 活動歴および病理医としての国際的貢献

2013 APIAP(釜山) 発表 2015 APIAP(ブリズベン) シンポジウム講演

2016 IAP(ケルン) シンポジウム講演 2017 英国 IAP(ベルファスト) 発表

2021 APIAP(岡山) シンポジウム講演

2023 - IAP スライドセミナー 講師

2019～現在 学術奨励賞選考委員会 委員

理事選挙へ向けての抱負

IAP 日本支部の活動は、日本の病理医の診断能力の向上、そして国際交流に重要な役割を担ってきました。日本病理学会との連携の下、今後さらに若手育成、生涯学習支援に取り組み、国際交流を活発化させるような活動に貢献できることを願っています。これまで多くの大先輩たちのご尽力により発展してきた IAP 日本支部の活動、そして元気や活力をしっかりと引き継げるよう努めて参ります。

小塚 祐司

YUJI KOZUKA



三重大学医学部附属病院 病理診断科 講師 / がん支援センター 副センター長

三重大学医学部 1999 年卒 中部地区

専門領域 乳腺分野

IAP 活動歴および病理医としての国際的貢献

2006 IAP 日本支部教育シンポジウム 講演 (前立腺生検標本の Gleason score)

2015 第 14 回日韓合同スライドカンファレンス Discussant (Breast)

2020 IAP 日本支部病理診断講習会 講演 (乳腺の病理 最近の話題)

理事選挙へ向けての抱負

2003 年の湘南国際村で開催された SURGICAL PATHOLOGY UPDATE に参加させていただき、Silverberg 先生と Fletcher 先生の講義に衝撃を受け、森谷卓也先生とのご縁をいただきました。それ以後も、JDIAP の教育セミナーやスライドセミナーで多くの分野の診断を学ぶことができました。今後は JDIAP を通して、多くの先生が楽しく病理医として成長・勉強できるよう、努力して参ります。

小無田 美菜

**MINA KOMUTA**



国際医療福祉大学医学部 成田病院 病理診断科 教授  
久留米大学 1995年卒 関東地区  
専門領域 肝胆膵分野

IAP 活動歴および病理医としての国際的貢献

- 2004 IAP (ブリスベン)発表 (初めての国際学会参加・発表)
- 2018 BDIAP (British Division IAP) (マーストリヒト) シンポジウム講演
- 2019 USCAP 発表 2017, 2019 USCAP 参加 2018, 2019 Japan Night 参加
- 2019 ECP (ニース) シンポジウム講演
- 2021 APIAP (岡山 Web) 講演
- 2023 ÖGPath/IAP Austria (ウィーン) 講演
- 2022～現在 合同会議実行委員会 委員

理事選挙へ向けての抱負

ベルギーで12年間、病理医として診断・研究・教育を行ってきた経験と欧州各国の病理医達との公私にわたるネットワークを生かし、皆様が築かれきた IAP 日本支部の更なる発展、特に国際事業・交流の活発化、若手病理医育成、生涯教育に、尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

掲載は五十音順です

近藤 哲夫

**TETHUO KONDO**



山梨大学大学院総合研究部医学域 人体病理学 教授  
山梨医科大学 1995年卒 関東地区  
専門領域 内分泌

IAP 活動歴および病理医としての国際的貢献

- 2021 - 2023 IAP スライドセミナー 講師
- 2007, 2014 IAP Int'l Congress 発表 2013 APIAP 発表
- 2002, 2004, 2006, 2007, 2011, 2012, 2015 USCAP 発表
- 2012, 2014 日台 IAP 合同 SC 発表 2011, 2013 日韓 IAP 合同 SC 発表
- 2021-2023 IAP 日本支部理事
- 2021-2023 IAP 日本支部教育委員会 副委員長
- 2022-2023 IAP 日本支部広報委員会 委員
- 2016-2018 IAP 日本支部合同会議実行委員会 委員

理事選挙へ向けての抱負

理事2期目に向けた選挙に臨みます。IAP 最大のイベントである福岡国際会議を2026年に控え、ウィズ・コロナ時代における国際交流に新たな価値観を創出します。

渡邊 麗子

REIKO WATANABE



聖マリアンナ医科大学病理学（診断病理） 教授

札幌医科大学 1996年卒 関東地区

専門領域 婦人科病理、泌尿器病理

#### IAP 活動歴および病理医としての国際的貢献

2019-2020 IARC senior visiting scientist

2020～ ICCR dataset steering committee (JSP representative)

2019～ ICD-O committee (IARC)

#### 理事選挙へ向けての抱負

この度、IAP 日本支部理事選挙に立候補させていただきました。若かりし頃、IAP スライドセミナーに参加した経験が大変刺激となり、これをきっかけに外科病理の魅力に引き込まれていったといっても過言ではありません。これからは、IAP 教育セミナー、学会、海外交流事業など JDIAP の活動を更に発展させるべく、会員の皆様にとって有益となる活動を進める立場として、頑張っていければと考えております。